



10月9日にソバを刈りました。

わっくつ

～明るく かしこく たくましい子ども～

回覧

令和6年度
滝沢市立柳沢小中学校
校報 第13号
令和6年10月25日
文責： 小野寺

実いの秋、感動の秋～学習発表会、大成功！～



もしもし、あのね、
今はみんな頑張っ
ているよ。

日本一大きな葉
をもつ木は？



10月12日（土）にスローガン「友愛～つくるろう 歌とこころのハーモニー～」を掲げ、滝沢市教育委員会渡辺康二課長様、教育振興協議会会長高橋雅寛様、保護者の皆様、地域の方々をお迎えし、盛大に開催することができました。

開会行事の児童生徒会の制作の紹介動画（CM）を見た後、いよいよ発表が始まりました。

始めは中学生の英語暗唱でした。三名の生徒がそれぞれ身振り・手振りを交えながら、流ちょうに英語の会話を演じてくれました。試しに目をつぶって聞いてみると、本当に海外の方がしゃべっているかのようでした。

続いては小学生の学級発表。低学年は東日本大震災を題材にした劇「風の電話」でした。参考にした絵本をなぞりながら、震災の恐怖、大切なものを失うことの悲しさ・つらさ、そして前向きに生きることの大切さを表現しました。短いセリフに感情をうまくのせて表現しており、見た人が感動せずにはいられませんでした。

続いての中学年は、総合的な学習で学んだことを詰め込んだ劇「森は生きている」。森林学習でお世話になった近藤さんの森への途中という設定の中で、学んだ知識や考え方を見ているみんなに楽しく伝えてくれました。

高学年は山田町・釜石市での宿泊学習で学んだことを映像とコント仕立ての説明で伝えてくれました。東日本大震災当時の津波避難を迫体験し、学んだことを発表し伝えてくれました。現在の小学生には震災当時の記憶ありません。聞いている側はもちろん、避難の様子を伝えてくれた彼らにとっても貴重な学習になったと思います。

前半最後は1年から6年までの小学生全員による合唱と合奏でした。元気でそしてハーモニーのある演奏をきかせて、盛り上げてくれました。

休憩をはさんで後半の始まりは、PTA合唱。今年懐かしの(?)「世界に一つだけの花」の合唱でした。歌詞カードを持ちつつ、花をつけたもう一方の指では振り付けをするという大変なものでしたが、当日は飛び入りも含めてステージ一杯の参加者で合唱をみごとに(?)披露できました。聞いている児童生徒は歌に合わせて花を振ってくれました。1曲だけの発表でしたが、大いに盛り上がりました。

そして中学生のクラス発表。

1年生は地域学習として北陵製作所への職場訪問についての発表です。スクリーンのパワーポイントに合わせて説明をしました。大勢の前での発表に緊張しながら、北陵製作所で説明いただいたこと、質問して深めたことを伝えることができました。「中学生としてやっておいたほうが良い事」はそのまま使えそうでしたね。

2年生は2日間の職場訪問の発表。3人が分かれて体験した現場(プランタンブラン、みのりホーム、県立図書館)での様子を1年生と同じスタイルで発表しました。実際に体験したことの発表なので、感想やこれからの思いを語る場面では、言葉の重みを感じられました。

そして3年生。テーマは「修学旅行で学んだこと」。これも同じスタイルでの発表と思いきや、芝居仕立てでの発表。生徒と担任で作った脚本と演技力で実際の出来事を表現しました。普段の教室を舞台にしたテンポのよい流れに観客からは思わず、笑いが起きる場面もあり、ハプニング(?)を含めて、修学旅行のようすがありありとイメージできたと思います。最後は学んだことをきちんと言葉にまとめ、きれいに締めて終わりました。

残るは「合唱」と閉会式。中学生の合唱は、中島みゆきの「糸」。アカペラから入り、全校11人できれいなハーモニーを響かせることができました。小中合同の合唱は「COSMOS(コスモス)」でした。この日に向けて、朝会や合同練習で取り組み続けてきた曲でした。CDの伴奏に合わせて、ハーモニーを大切にしながら歌いけることができました。

最後の閉会式の中では、「カルミア」を歌いました。数年前から途絶えていた合唱曲でしたが、こども達の中から学習発表会で歌いたいという意見が出たことから、準備期間を経て復活させました。言葉を大切にしながらいねいに歌うことができました。

休憩時間には観客の皆様には美術室へ足を運び、子ども達の作品をじっくりご覧いただきました。



地域みなさんにも
たくさん参加して
いただきました。



大きなトラブルもなく、児童生徒たちの発表をお越しいただいた皆様にご覧いただけたことを大変嬉しく思います。また、取り組みの中で子どもたちは意見を出し合い、教職員と力を合わせて臨み、「歌と心のハーモニー」を体現してくれました。おかげさまで教職員も子供たちの成長を実感することができました。

ご協力いただいた保護者、関係者の皆様には篤く御礼申し上げます。